

日本交通医学会学術大会特別講演者

回	開催地	年月日	会 長	特別講演
1	大阪	1947.4.2	東京鉄道病院 桜井久一	外傷性神経症と耳科神経学 四肢損傷の職能的後療法 石川 旭丸 笠井 重雄
2	東京	1948.4.2	〃	〃 現下労働衛生の諸問題について 石井 知福
3	名古屋	1949.4.17	〃	〃 疲労の問題について 杉田 直樹
4	新潟	1950.5.14	〃	三沢 憲 骨折治療最近の動向 天児 民和
5	東京	1951.4.3-4	〃	〃 ショックに就いて 福田 保
6	仙台	1952.5.10-11	〃	〃 諸種肺疾患の鑑別診断について 能谷 岱蔵
7	広島	1953.5.2-3	〃	奥谷広光 原子爆弾の障害症について 渡辺 漸
8	東京	1954.6.5-6	〃	〃 肺結核の外科に就いて 都築 正男
9	大阪	1955.4.2-3	〃	〃 放射線障害とその対策 中泉 正徳
10	名古屋	1956.6.2-3	〃	近璋太郎 災害と悪性腫瘍の発生 大島 福造
11	仙台	1957.6.15-16	〃	木口三郎 勤労者の疲労とその測定 本川 弘一
12	新潟	1958.5.31-6.1	中央鉄道病院	〃 現在行われている各種脳手術 中田 瑞穂
13	東京	1959.3.30-31	〃	〃 なし
14	大阪	1960.5.21-22	〃	〃 腰痛と五十肩 水野祥太郎
15	名古屋	1961.5.27-28	〃	〃 癌の化学療法 日比野 進
16	広島	1962.6.2-3	〃	〃 交通災害による頭部外傷の後遺症 小沼十寸穂
17	大阪	1963.4.3-4	〃	〃 なし
18	仙台	1964.6.13-14	仙台鉄道病院 今橋十一	救急そ生法 宇宙医学 岩月 賢一 大島 正光
19	門司	1965.6.12-13	門司鉄道病院 城野 勇	自動車事故多発地帯の問題点 交通外傷の口腔外科治療 近藤 武 藤野 博
20	新潟	1966.6.11-12	新潟鉄道病院 山田 実	気象と災害 渡辺 巖一
21	名古屋	1967.6.10-11	名古屋鉄道病院 野坂 靖	救急医療コントロールシステム 橋本 義雄
22	四国	1968.6.8-9	四国鉄道病院 野田良雄	交通事故と頭部外傷 佐野 圭司
23	札幌	1969.6.21-22	札幌鉄道病院 山田 実	なし
24	大阪	1970.9.26-27	大阪鉄道病院 松尾 修	頓死・医原病死・医療事故死の問題点 交通従事員の精神衛生管理 上野 佐 黒丸正四郎
25	東京	1971.6.12-13	中央鉄道病院 千葉保之	国鉄保健管理の理論的展開 千葉 保之
26	広島	1972.6.17-18	広島鉄道病院 丸山満典	乗物における心身反応とその見方 交通災害とリハビリテーション 大島 正光 赤津 隆
27	仙台	1973.6.16-17	仙台鉄道病院 吉田昌純	外傷性頭蓋内血腫の種々相 視覚生理学から見た新しい型のテンカン 鈴木 二郎 田崎 京二

28	門司	1974.6.22-23	門司鉄道病院	真島 正	交通災害と心身症 乗物と内耳機能	中川 哲也 渡辺 勉
29	新潟	1975.6.14-15	新潟鉄道病院	南部典則	宇宙医学最近の進歩 手の外科最近の進歩	佐伯 欽 田島 達也
30	名古屋	1976.6.26-27	名古屋鉄道病院	小林貞夫	産業職場における腰痛予防について 身体の均衡へのアプローチ	石田 肇 時田 喬
31	札幌	1977.6.25-26	札幌鉄道病院	全田一郎	癌の免疫 運動のスキル機構	小林 博 本間 三郎
32	四国	1978.6.10-11	四国鉄道病院	井上圭爾	外科学の使命	陣内伝之助
33	大阪	1979.6.9-10		橋本信次	音響性聴器障害 学校および職場検尿をめぐる諸問題 胆石症にまつわる諸問題	志田 享 武内重五郎 日笠頼則
34	東京	1980.6.7-8	中央鉄道病院	上田英雄	今後の高速鉄道への医学的接近 CTの現在と未来	山崎和秀 田坂 皓
35	広島	1981.6-7	広島鉄道病院	田中隆夫	全身疾患と皮膚病変 超音波診断展望 総合画像診断	矢村卓三 若賀井敏夫 高橋信次
36	仙台	1982.6.12-13	仙台鉄道病院	石井 敬	癌患者に見られる免疫抑制	石田名香雄
37	小倉	1983.6.11-2	門司鉄道病院	世戸口篤	環境と化学物質 文化の進展と医学 聴性誘発反応電位の展望	児玉 泰 柳瀬敏幸 曾田豊二
38	新潟	1984.6.9-10	新潟鉄道病院	泉 外美	大腸疾患の臨床 日常臨床における糸球体腎炎 胃十二指腸潰瘍	笹川 力 荒川正昭 武藤輝一
39	名古屋	1985.6.29-30	名古屋鉄道病院	宇野 弘	癌の疫学 消火器癌治療の進歩	青木国雄 近藤達平
40	札幌	1986.6.21-22	札幌鉄道病院	佐久間昭直	毛の成長の生物学 感染症・化学療法における臨床薬理 肝炎・とくにB型肝炎について	高島 巖 斉藤 玲 安齋哲郎
41	大阪	1987.7.4-5	大阪鉄道病院	池内秀夫	消化器疾患の21世紀への展望 世界における心臓移植の現況	川井啓市 川島康生
42	東京	1988.6.11-12	JR東京総合病院	浅野献一	輸入感染症の最近の動向 Circadian rhythm-時差ぼけの功罪	伊藤雅治 広重 力
43	広島	1989.6.10-11	広島鉄道病院	西本幸男	原爆放射線障害の現状と将来 老人医療の問題を考える	重松逸造 天本 宏

					交通外傷治療の最近の進歩	生田義和
					弁膜症外科治療の変遷	浅野献一
44	仙台	1990.6.9-10	JR仙台病院	大内 博	胃癌と食生活に関する疫学的研究	加美山茂利
					労働と健康	高田 勲
					高血圧の診断と治療	阿部圭志
					わが国における食道癌治療の現況	森 昌造
45	名古屋	1991.6.8-9	JR 東海総合病院	鵜飼光雄	内分泌から見た宇宙医学	松井信夫
					画像診断の進歩	佐久間貞行
					リニアモーターカーシステム開発の現状	松田和久
46	札幌	1992.6.12-13	札幌鉄道病院	平賀洋明	ディーゼル排気ガスの人体に及ぼす影響	岩井和郎
					放射線の疫学	細田 裕
					高齢化社会における交通事故	浦澤喜一
47	大阪	1993.7.10-11	大阪鉄道病院	池内秀夫	交通事故における頸部損傷	米延策雄
					調節傷害の診断と治療	木下 茂
					臓器移植の現状と問題点	岡 隆宏
48	東京	1994.6.3-4	JR東京総合病院	松本正久	海外で健康に暮らすために	渡辺義一
					がんの疼痛対策	武田文和
					世界におけるエイズ流行の現況と日本	武部 豊
49	広島	1995.6.10-11	広島鉄道病院	力田忠義	中高年のスポーツ傷害	村上恒治
					健康増進のための運動処方のおすすめ方	大成浄志
					高血圧運動療法のすすめ	出石宗仁
50	仙台	1996.6.8-9	JR仙台病院	大内 博	大腸癌診断治療の分子生物学的アプローチ	馬場正三
					職業病と職場環境	佐藤 洋
					生体部分肝移植の現況と問題点	里見 進
51	名古屋	1997.6.7-8	JR 東海総合病院	黒柳弥壽雄	宇宙飛行士と生体反応	間野忠明
					医用画像と医療情報システム	石垣武男
					エイジング	井形昭弘
52	札幌	1998.6.6-7	札幌鉄道病院	平賀洋明	鉄道車両乗り心地評価の人間科学研究	鈴木浩明
					高圧環境下における酸素療法	眞野喜洋
					ストレスを巡る最近の話題	齋藤和雄
					最近のじん肺の診断をめぐる話題	細田 裕
53	大阪	1999.6.5-6	大阪鉄道病院	川井啓市	阪神大震災時の医療の実態と今後の対応	千葉 勉
					ライフスタイルと健康	森本兼曩
					癌の遺伝子調節化学療法(化学予防)	酒井敏行
54	東京	2000.6.3-4	JR 東京総合病院	古瀬 彰	スピードと人間社会	行天義雄
					男女共同参画社会をめざして	名取はにわ

55	広島	2001.6.2-3	広島鉄道病院	力田忠義	ストレス社会とメンタルヘルス 最近の画像診断 生活習慣病の現状と将来の展望 鉄道再生への道のり	山脇成人 伊藤勝陽 伊藤千賀子 森下逸夫
56	仙台	2002.5.11-12	JR 仙台病院	松井邦昭	高血圧と糖尿病 肺移植とその周囲の問題点 世界の感染症の動向と日本人海外渡航者	伊藤貞嘉 近藤 丘 岩崎恵美子
57	名古屋	2003.6.14-15	JR 東海総合病院	高木 弘	JR東海の中央新幹線計画とリニア技術開発	森下忠司
58	札幌	2004.6.12-13	札幌鉄道病院	平賀洋明	変貌する感染症と治療戦略 介護予防と高齢者の社会的サポート 薬剤による大腸癌の予防	山中 昇 岸 玲子 新津洋司郎
59	誌上	2005.6.4-5	大阪鉄道病院	田中承男	小児のけいれん性疾患とその治療 自動車排ガスの生体影響 整形外科の最新治療	山野 恒一 高野裕久 吉川 秀樹
60	東京	2006.6.18-19	JR 東京総合病院	花岡一雄	宇宙酔い発生における前庭系のかかわり 深部静脈血栓症の予防と対策 歴史の転換期と感染症	肥塚 泉 瀬尾憲正 岩本愛吉
61	広島	2007.6.9-10	広島鉄道病院	三嶋 弘	呼吸はメタボリック症候群のキーファクター 移植・再生医療 安全最優先の企業風土構築をめざして 医療人の品格	河野修興 浅原利正 丸尾和明 久道 茂
62	仙台	2008.6.7-8	JR 仙台病院	松井邦昭	角膜の再生医療 グローバル化する新興感染症とその対応 化粧のもう一つの顔	西田幸二 押谷 仁 阿部恒之